

昭和42年2月号(通刊第168号)

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市学校町1-1 県庁本館社会教育課内室】

【電話:(新潟)265511 内線691】

【振替 新潟 4094】

発行人 会長 吉津 勝栄

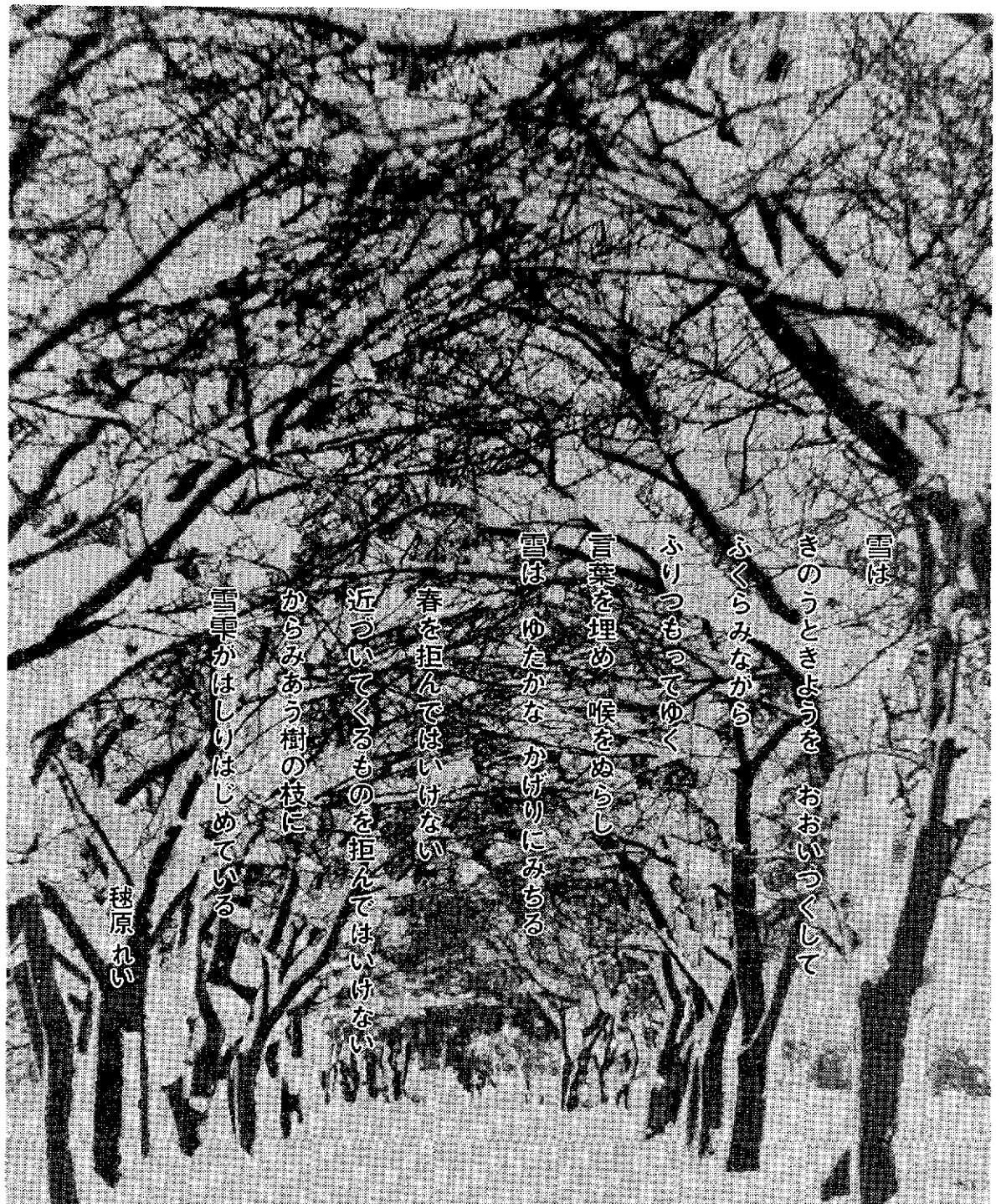
編集人 事務局長 水田 清

昭和42年2月15日発行(毎月1回15日発行)

【定価 1部18円半共・年額216円】

新潟県

公民館月報



本紙撮影

県青保条例改正を陳情

環境淨化運動にとりくむ

社会教育園林四日市体験講習会（県公連、県婦連、県P、県連書、構成）の定例会が、さる一月十八日と二月一日新潟市、県婦人会館で開かれ、懇親会の“青少年の健全育成を阻害する有害出版物、映画、テレビ、ショウ等に対する追放活動について”的具体策を協議、①県に対し、『青少年保護条例の改正に関する請願書』を提出する。②関係業者との懇談会を開催する。③下部組織への浸透をはかる。

出席席は県議選三名（県P.二）見せない（子供）売らぬ（業者）の「三なし運動」と曰ふストーリーの「三なし運動」（車中等で読み物週刊紙等を運動（車中等で読み物週刊紙等を捨てる容疑設置運動）等の取り組みの事例などについても説明を受けた。この結果次の三点についての説明を受けたばかり、東京についての説明を受けたばかり、東京で行なつてゐる（読まない（大人についての陳情をする。

二 國際業者との懇談会等を開催し、協力を自重を求める。
三 各団体の単位組織への趣旨徹底をはかり、環境浄化運動を眞体的に推進する。

青少年の健全育成を阻害する
有害出版物、映画、テレビ、
ショーや等に対する追放活動に
つばて

社会教育四団体協議会

としむる心身とおもて
健全な青少年年の育成を図ることは
私たちおとなとの義務であることは
申すまでもないことであります。
このため県におきましても青少年
年保健法条例を制定し、昭和三十
七年四月一日から施行され
県をはじめ警察機関、団体等が積
極的に青少年問題を取り組む努力
と人と約二倍に達し、その漸増の勢
はさわめて憂慮すべきものがあ
る。まことに警報統計によれば、
本県の青少年非行は、条例制定
である昭和三十七年度の二万五
千二百五人に対し、三年後の昭
和四十一年度は三万九千四百五十
人と約二倍に達し、その漸増の勢
はさわめて憂慮すべきものがあ

新潟県青少年保護育成条例の改正に関する請願書

社会環境の整備

検定制度の設置→監視機能の設立

取締の強化 (県情)

県情運動

の強化

社会教育四団体協議会

新潟県公民政館連絡協議会

新潟県婦人連絡協議会

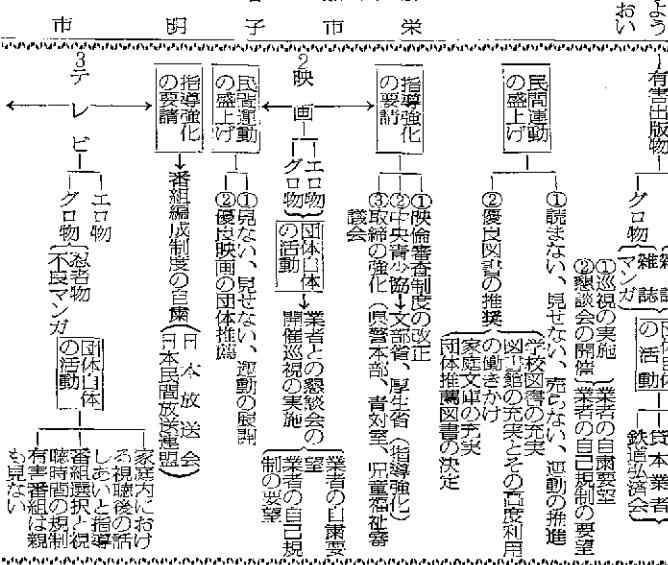
新潟県連合青年団

日本雑誌協会

日本出版取次協会

日本出版小元業組

青対室 (同上)



後退した公民館報

知事賞は“広報たがだ”が獲得

県広報協議会主催の第四回広報コンクール審査が、さる一月三十一日県庁で開かれた。各市町村と公民館からの応募広報四十五点のなかで、最優秀知事賞は“広報たがだ”を選んだほか、広報写真部（応募百二十点）の一位にみんな手を洗いましょう（直江津）を選んだ。前回まで公民館報の入賞も多數あり上位入賞を果すこともじゅうじゅうであったが、今回も少くなく入賞紙もなかった。

審査は各報導関係、県、県教委、市長会、町村会、県公連など、代表者が当り、各市町公民館の企画、取材、文章、レイアウト技術等について個々に事前審査を行って採点合計を出したうえ、さうして審査会での討論を経て入賞を決定した。

市町公民報の前身は、戦後いち早く発行され、住民に歓迎されたいた公民館報から出発したものが多く、過去の広報コンクールでは、公民館報の応募が多く、入賞は、公民館報の応募が多くのため、公民館報が占めるという場合もしばしばあった。その後、市町村において行政広報の重要性が認識されるに至ったが、公民館報は市町村広報に吸収される例が多くなり、現在では公民館が単独で発行している例は、非常に少ないから、一館当の補助率は前年

公民館報が行政広報に吸収され、消滅してしまう傾向は決してよいことはない。広報のなればば市町公民報と銘打つ編集は公民館で行なつてもらるものもあるが、本来は二本立て発行すべきものと思われる。入賞作品は次のとおり。

一位 広報いすもやま 二位 広報まき 三位 広報こしげ、

佳作 広報やすだ

すいばの町だより 広報こじで

守門 広報あいかわ

きものと思われる。入賞作品は次のとおり。

（広報写真の部入選）
一位 みんな手を洗いましょう（直江津） 二位 防波（北蒲団栄町） 三位 七・一七水害（同） 濱田の共同作業（中頸城郡大河内町）

二位 市報にいがた 二位 加茂市政だより 佳作 市報むらら かみ 広報つばめ 広報直江津

板倉町）

— □ —

（展示設備）

新井市、柏崎市、南浦下山村

（へき地図書）

中魚沼南町

（16）（映写機）

長岡市、十日町市、北魚沼瀬

（2）（映写機）

長岡市、十日町市、北魚沼瀬

（3）（映写機）

佐渡粗野町、西蒲原町

（4）（映写スクリーン、冷蔵庫）

佐渡粗野町

（5）（ステレオ）

新井市

（6）（ステレオ）

新井市、西川町、東雲松之山町

（7）（ステレオ）

西蒲原町

（8）（ステレオ）

西蒲原町

（9）（ステレオ）

西蒲原町

（10）（ステレオ）

西蒲原町

（11）（ステレオ）

西蒲原町

（12）（ステレオ）

西蒲原町

（13）（ステレオ）

西蒲原町

（14）（ステレオ）

西蒲原町

（15）（ステレオ）

西蒲原町

（16）（ステレオ）

西蒲原町

（17）（ステレオ）

西蒲原町

（18）（ステレオ）

西蒲原町

（19）（ステレオ）

西蒲原町

（20）（ステレオ）

西蒲原町

（21）（ステレオ）

西蒲原町

（22）（ステレオ）

西蒲原町

（23）（ステレオ）

西蒲原町

（24）（ステレオ）

西蒲原町

（25）（ステレオ）

西蒲原町

（26）（ステレオ）

西蒲原町

（27）（ステレオ）

西蒲原町

（28）（ステレオ）

西蒲原町

（29）（ステレオ）

西蒲原町

（30）（ステレオ）

西蒲原町

（31）（ステレオ）

西蒲原町

（32）（ステレオ）

西蒲原町

（33）（ステレオ）

西蒲原町

（34）（ステレオ）

西蒲原町

（35）（ステレオ）

西蒲原町

（36）（ステレオ）

西蒲原町

（37）（ステレオ）

西蒲原町

（38）（ステレオ）

西蒲原町

（39）（ステレオ）

西蒲原町

（40）（ステレオ）

西蒲原町

（41）（ステレオ）

西蒲原町

（42）（ステレオ）

西蒲原町

（43）（ステレオ）

西蒲原町

（44）（ステレオ）

西蒲原町

（45）（ステレオ）

西蒲原町

（46）（ステレオ）

西蒲原町

（47）（ステレオ）

西蒲原町

（48）（ステレオ）

西蒲原町

（49）（ステレオ）

西蒲原町

（50）（ステレオ）

西蒲原町

（51）（ステレオ）

西蒲原町

（52）（ステレオ）

西蒲原町

（53）（ステレオ）

西蒲原町

（54）（ステレオ）

西蒲原町

（55）（ステレオ）

西蒲原町

（56）（ステレオ）

西蒲原町

（57）（ステレオ）

西蒲原町

（58）（ステレオ）

西蒲原町

（59）（ステレオ）

西蒲原町

（60）（ステレオ）

西蒲原町

（61）（ステレオ）

西蒲原町

（62）（ステレオ）

西蒲原町

（63）（ステレオ）

西蒲原町

（64）（ステレオ）

西蒲原町

（65）（ステレオ）

西蒲原町

（66）（ステレオ）

西蒲原町

（67）（ステレオ）

西蒲原町

（68）（ステレオ）

西蒲原町

（69）（ステレオ）

西蒲原町

（70）（ステレオ）

西蒲原町

（71）（ステレオ）

西蒲原町

（72）（ステレオ）

西蒲原町

（73）（ステレオ）

西蒲原町

（74）（ステレオ）

西蒲原町

（75）（ステレオ）

西蒲原町

（76）（ステレオ）

西蒲原町

（77）（ステレオ）

西蒲原町

（78）（ステレオ）

西蒲原町

（79）（ステレオ）

西蒲原町

（80）（ステレオ）

西蒲原町

（81）（ステレオ）

西蒲原町

（82）（ステレオ）

西蒲原町

（83）（ステレオ）

西蒲原町

（84）（ステレオ）

西蒲原町

（85）（ステレオ）

西蒲原町

（86）（ステレオ）

西蒲原町

（87）（ステレオ）

西蒲原町

（88）（ステレオ）

西蒲原町

（89）（ステレオ）

西蒲原町

（90）（ステレオ）

西蒲原町

（91）（ステレオ）

西蒲原町

（92）（ステレオ）

西蒲原町

（93）（ステレオ）

西蒲原町

（94）（ステレオ）

西蒲原町

（95）（ステレオ）

西蒲原町

（96）（ステレオ）

西蒲原町

（97）（ステレオ）

西蒲原町

（98）（ステレオ）

西蒲原町

（99）（ステレオ）

西蒲原町

（100）（ステレオ）

西蒲原町

（101）（ステレオ）

西蒲原町

（102）（ステレオ）

西蒲原町

（103）（ステレオ）

西蒲原町

（104）（ステレオ）

西蒲原町

（105）（ステレオ）

西蒲原町

（106）（ステレオ）

西蒲原町

（107）（ステレオ）

西蒲原町

（108）（ステレオ）

西蒲原町

（109）（ステレオ）

西蒲原町

（110）（ステレオ）

西蒲原町

（111）（ステレオ）

西蒲原町

（112）（ステレオ）

西蒲原町

（113）（ステレオ）

西蒲原町

（114）（ステレオ）

西蒲原町

（115）（ステレオ）

西蒲原町

（116）（ステレオ）

西蒲原町

（117）（ステレオ）

西蒲原町

（118）（ステレオ）

西蒲原町

（119）（ステレオ）

西蒲原町

（120）（ステレオ）

西蒲原町

（121）（ステレオ）

西蒲原町

（122）（ステレオ）

西蒲原町

（123）（ステレオ）

西蒲原町

（124）（ステレオ）

西蒲原町

（125）（ステレオ）

西蒲原町

（126）（ステレオ）

西蒲原町

（127）（ステレオ）

ことしの公民館職員講習

県公民館職員講習が、2月20日～25日(前期)3月6日～11日(後期)に新潟市内県立青年の家で開かれる。この講習会は、昭和37年度から毎年50名ずつ4カ年計画で実施する方針で出発したもので、こととして第5回を迎えた。その後諸状勢の変化から受講希望者が減少し、内容の再検討が望まれているが、希望科目ごとの聽講もできるので多数の参加が期待されている。

公民館職員講習会内容及び講師名

科 目	内 容	講 師 名
社会 学	⑤社会構造と教育 ⑥社会調査	新大教育学部 大西正美先生
心 理 学	⑦社会心理	新大人文学部 滝沢武久先生
	⑧学習心理 ⑨青年心理	新大教育学部 加藤謙先生
社会教育概論	⑩社会教育原論 社会教育の本質、基本的機能、目的と内容、方法 形態他	東京教育大学 平沢蕉先生
	⑪社会教育の歴史と課題	新大教育学部 玉井成光先生
社会教育施設論	⑫社会教育施設と問題点 ⑬公民館の歴史と現状 ⑭公民館の性格と望ましいあり方	中島俊教先生
公民館経営法	⑮公民館と市町村行政	羽茂町長 庵原健先生
	⑯社会教育の方法技術 集団指導と話し合いの進め方	加茂小学校長 増井悌三郎先生
	⑰図書室経営と読書指導	
	⑱表示、展示の方法	小林デパート広告 主任 池悟郎先生
	⑲体育レクリエーションの理論と実際	県保体育課 本間社会教育主事
	⑳視聴覚教育の方法	県社会教育主事
	㉑成人教育の現状と問題点	〃 〃
	㉒婦人教育の現状と問題点	〃 〃
	㉓家庭教育 〃 〃	〃 〃
演 習	㉔青少年教育 〃 〃	〃 〃
	㉕文化振興活動 〃 〃	〃 〃
	㉖歌唱指導	新潟市鏡渕小学校 栗原保先生
	㉗社会教育の研究	新大教育学部 玉井成光先生 県社会教育主事

柏崎市民

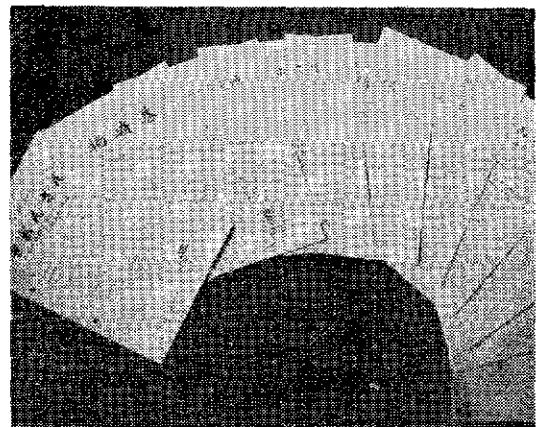
。おわりに
「公民館を実現
する事業のひとつ
として私たちは
柏崎市民大塚を実
施してみた。さあ
やかな事業ではあ
つたが、私はやや
甲斐のあるただ
のしい仕事であつ
た。

。おわりに
「公民館を象徴する事業のひとつとして私たちには柏崎市民大字を実施してみた。さあやかな事業はあったが、私ほやや甲斐のあるかのいい仕事をつた。

「黒い霧籠版」にて
今この原稿を書いていた
時に乍ら、國民の政
心が大きな問題とされ
公民館活動でのひと
いわれる男子成人教育
とも有効な政治教育、
は、現場ではあまり歓
ないようである。現場
治教員のむつかしさは
してよくわかるのだ
といふのが知りたいと
よくわかつた。今後も
機会を通してもっと勉
めたい声がきかれた。
――

の仕事で、	令嬢が、	いつのよな	うながす
の仕事で、	令嬢が、	いつのよな	うながす
の仕事で、	令嬢が、	いつのよな	うながす
の仕事で、	令嬢が、	いつのよな	うながす
の仕事で、	令嬢が、	いつのよな	うながす

は、公民館の重要な柱となるべきものだ。私は思うが、どうだ？



〔柏崎市民大学のテキスト〕

自由の朝 公民館の歌
みんな輪になるつ 公民館音頭

卷一

「公民館の歌」のレコードが、
県公連事務局にあります。

歌手
○ボビーラーダンス 横成 由美

公民館に対する一般的の理解と親近感を深めるため、各公民館の役

ブオーラクタンス遺墨

会、市町村民運動会、あるいは、
社教関係団体の諸活動の中に採

(三) 素質裏集(ノミナリズム)
。作詞 生田昌澄(西宮市夙川公民館)

入れてください。

。作曲 沢河一穂(クムウン專属)

○クラウスレコード十七センチ
ステレオ四五回転

。歌手 水曜日歌
うわいじやうごう

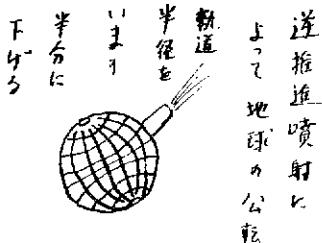
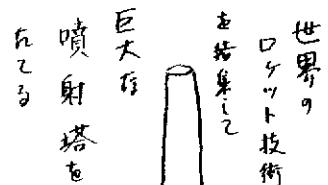
○A面全曲録の歌(自由の朝)
○歌手 実倉正信(NHK「歌の
百人一首」)の歌

。此處應填付 全日本正讀指導者
連絡函號

あまのじやく

妄想・夢想

うつぎ・かず



私の町の館報が定期的に発行されるようになり、そのうちの二コースが載せられているので、近頃は、私のような野次感には改めてなれてしまう友人、淋しいように思われる。私は、たまに送っている。月に二回ほど、遠く他郷に暮らす友人に町の館報を送ることを始めた。そのことは、故郷の町の様子がわかつてお酒を飲みすぎて、無駄使いが多い

(北蒲原町・井上さん)

月に二回必要だが、二

やうとも書類・投書や

山に

いふ必要はない。

うつぎ・かず

